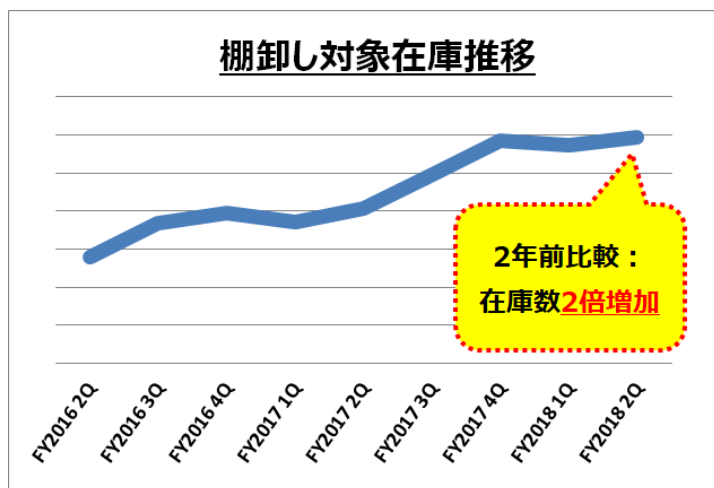


NEWS RELEASE

ブランディアオークション！過去最多出品約 60 万点 在庫の 3 割を占めるバッグへ IC タグ本格導入 棚卸し作業 35%工数削減へ

株式会社デファクトスタンダード（本社：東京都大田区、代表取締役社長：尾嶋崇遠、東証マザーズ上場：証券コード 3545、以下「デファクトスタンダード」）は、約 60 万点の在庫のうち約 3 割を占めるバッグに対して IC タグを導入しました。これにより 2018 年 9 月期第 2 四半期の棚卸し作業が他ジャンルと比較し 35%改善されたことを報告します。

◆IC タグ拡大の背景



デファクトスタンダードは、「一拠点集中型」「組織仕組み化」「大規模オペレーション」といった強みを活かし、セカンドブランド^(※)を中心に中核事業であるブランド品宅配買取サービス「Brandear（以下「ブランディア」）」を拡大してきました。同サービスを通して買取した商品は現在約 60 万点に及び、国内自社販路「ブランディアオークション！」を中心に複数販路に同時出品しています。

商品は毎四半期ごとに約 20,000 点増えていますが、創業から 14 年経つ現在も四半期に一度棚卸し作業を行います。こうした在庫増に伴い、棚卸し作業はシステム面と運用面双方から効率改善を図っています。

2018 年 9 月期第 2 四半期には、システム改善の一つとしてバッグの在庫に対して IC タグを導入しました。バッグは形状が統一されていない分他ジャンルに比べて作業効率が落ちやすいことが課題でしたが、これにより ID の読み込みスピードが格段に上がったため、バッグ 1 個の棚卸作業が 35%改善され、人的リソースの削減の他、管理者側の負担軽減にもつながりました。今後 IC タグには商品管理の簡素化やセキュリティ強化においても期待を寄せており、効率化が大幅に見込まれる在庫ジャンルへ順次拡大予定です。

※ セカンドブランド … リユース品としての平均販売価格が 1 千円以上 1 万円未満のブランド品（当社定義）

◆株式会社デファクトスタンダードについて

中核事業であるブランド品宅配買取サービス「Brandear (ブランディア)」は、「インターネット」「一拠点集中型」「組織仕組み化」といった強みを活かし、リユースEコマースにおける「中・低単価アパレル市場」マーケットを拡大してきました。取り扱いは、洋服、バッグ、アクセサリなど、ハイブランドから身近な百貨店ブランドまで約7,000種類と幅広く、延べ利用者数200万人を突破(2017年5月15日時点)いたしました。2016年8月31日(水)に東証マザーズへ上場、今後も本サービスを中核としながら、世の既成概念にとらわれず、新しい価値を見出し、デファクトスタンダードとなるサービスを作り出していきます。

【会社概要】

【ブランディア】 <http://brandear.jp/>

【ブランディアオークション!】 <http://auction.brandear.jp/>

会 社 名 : 株式会社デファクトスタンダード

代 表 者 : 代表取締役社長 尾嶋 崇遠

本社所在地 : 東京都大田区平和島 3-3-8 山九平和島ロジスティクスセンター5F

設 立 日 : 2004年4月、 資 本 金 : 1,209百万円